

〇〇小学校

校長先生

6年生担任の先生方

こんにちは、いつも大変お世話になっております。

いよいよ2学期がはじまり、運動会も一ヶ月先に近づいてまいりました。

予定種目である「組立て体操」についての意見があり、お手紙をお送りします。

(今年はやることが決まっていると1学期の終わりに聞きましたので来年度からの提案になりますが)

5年生の終わり頃、長男に6年生になったらどんなことがしたいかの抱負を聞いたところ、

開口一番に「組立体操をしたくない」という言葉が出、驚きました。

もちろん本人には「いやだったら参加しなくてもいい」と伝えたので、今年の運動会是不参加にさせていただきますが、これからのことや、そんなことを言い出せない子どももいるかもしれないと思い、一意見としてお伝えいたします。

今年からは安全面に配慮してタワーやピラミッドなどは2段までになるということもお伺いしましたが、幼少期より、(外遊びは好きなのですが)身体を動かすことに関して不器用なところがあり、医師からはグレーゾーンと言われたこともありましたが、リレーや他の競技はいつもたくさん練習を重ね、苦手なりに頑張ってきましたが、今回ばかりは、自分の失敗がお友達の怪我につながるということが相当参ったようで、不参加ということにさせていただきますが、親としては、ホッとしています。

組立体操で過去におこった事故や現状などを調べてみたところ、死亡事故や重大な事故がたくさん起きていることがわかりました。

さらに組立体操のこの始まりまで紐解くと、もともとは軍隊がやっていた兵式体操が起源で(運動会そのものがそういった傾向にあるようなので一概に起源から悪いとは言えませんが)、ピラミッドなどは戦場で高い崖などを乗り越えて進軍するための訓練だったそうで、そのようなことを考えても、子どもの身体に負担がかかることは明白です。それを、数週間という僅かな練習時間で、昨今の猛暑の9月中、受験勉強で寝不足になっている子どもたくさんいる中で行う。この慣習がいつまでも続いている理由は一体なんなのでしょう。

中でも怪我をした児童本人が書いた文部省宛の手紙の内容は悲痛なものでした。

続いてきた慣習や、町内会の大人や保護者たちが感動したいために、なぜ児童を傷つけ、5年生のころから不安な気持ちを抱かせるこんな行事を未だにやっているの

だろう。と不思議な気持ちになりました。そして、そのことに気付かなかった自分も含めた大人たちに怒りの念を覚えました。

一度、子どもたちみんなに意見を聞いてみてはいかがでしょうか。そして話し合うのがいいかと思います。兵庫県は組体操が昔から盛んな地域のように（西宮は甲子園もあるので）〇〇小学校の一存だけでは決められないこともあるかと思いますが、ぜひ、〇〇小学校が先頭をきって改革をおこしていただきたいと願います。子ども思いの〇〇小学校のことですから、必ずいい方向に持っていくことができると信じています。

すでに先生方はそのような情報を知っているかと思いますが、  
以下は参考になったサイトの一例です。

意見書は、兵庫県教育委員会と西宮市教育委員会にも送ることにしました。  
一刻も早く、大人は子どもたちのことを一番に考え、意見を聞き、みんなでその競技がほんとうにやりたいことなのか、やるべきことなのかを判断していただけることを祈っています。

本当はもっと早くにこの意見をお伝えしなければならなかったのですが、ギリギリのタイミングになってしまったこと、申し訳ありません。